

おわりに

本検討会においては、デジタル方式の防災行政無線システムに関して、北陸総合通信局管内の市町村に対してアンケート調査を行い、整備に対する考え方や整備上の課題などについて把握を行いました。また、電波伝搬シミュレーションを行うことで、市町村等地域に応じた効率的な整備の仕方について、共同利用や共同整備によるコスト低減の効果が期待されることを確認しました。

このほか、共同利用・共同整備の際に重要な事項として、事前に検討しておくべき管理運営に関する事項、通信統制に関する考え方についても整理を行い、さらに、機器の互換性確保の観点から、異なる製造者の機器同士での相互接続性について検討・検証を行いました。

これらの検討・検証を踏まえ、260MHz 帯デジタル防災行政無線システムの普及に向けて、異なる製造者同士の機器の相互接続性を、今後、さらに高めて行くことが重要であると認識されたものと考えております。

今後、この報告が、市町村等における防災対策の充実・強化に関して役立つものとなれば幸いです。

最後になりますが、昨年 6 月から本年 3 月までの間に 4 回にわたり開催した本検討会において、熱心な論議と貴重なご意見をいただいた構成員のみなさま、通信試験において多大なご協力をいただいた関係する方々に、この場を借りて深く感謝いたします。

平成 21 年 3 月

260MHz 帯デジタル防災行政無線システムの共同利用等に関する調査検討会

事務局